

澄んだ水と輝く大地が織りなすふるさとづくり (平成23年度認定)



羽地水稻生産部会は昭和59年に設立されて以来、「美味しい米を作る努力」を市やJAの協力のもと部会が一丸となって行い、地元の米「羽地米」の生産、販売に取り組んできた。

ユイマールという習慣をベースに、共同での苗づくりや共同防除の管理作業を活発に行っており、生産量・品質ともに安定している。また、新米祭り（1期作）、収穫祭（2期作）など、各イベントを展開し、ブランド米の売り込みの実施している。なお、平成22年度にはライスセンターの整備も行われ、田植えから精米までを一貫して行えるようになった。

また、子供達への食農教育を図るため、生産者、学校等の関係者が連携しながら農業体験を行っており、水田を活かした「田んぼでの合同どろんこ遊び」も開催している。

さらに、独特な農村づくりとして、収穫後の水田にコスモス作付けを行うことで地域の景観形成を図り、コスモス祭りを開催している。このコスモスの作付けは、有機肥料としての緑肥の効果もある。

このように、地域活性化に寄与しているJAおきなわ羽地水稻生産部会は、【澄んだ水と輝く大地が織りなすふるさとづくり】に取り組んでいる。



水田風景



ライスセンター



農業体験



合同どろんこ遊び



水田に咲くコスモス



コスモス祭り